

コア企業：(株)イワクラ（苫小牧市：木材木製品製造業）

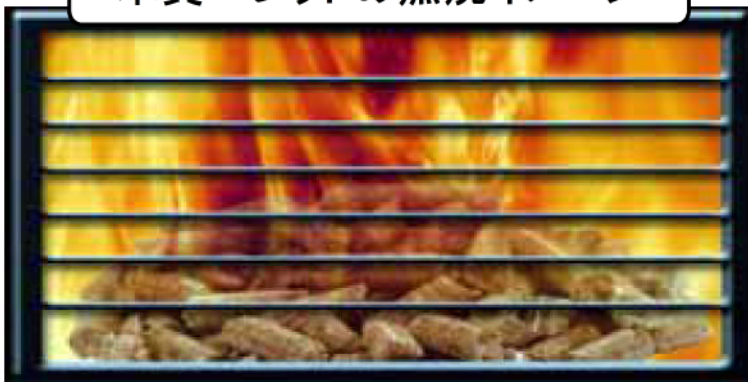
連携企業等：金子農機(株)、(株)小橋建設

33

事業計画の概要：未利用木材を活用した新たな木質ペレット（石油代替燃料）の供給システムの確立・販路開拓及び木質ペレット用燃焼機器の開発・販路開拓～森林資源の有効活用による、環境保護への貢献～

1. 木質ペレットは、森林バイオマスのうち樹木を構成する幹などの木質部を一度細かく粉碎し、熱と圧力で再固形化した、発熱量4,000～4,700Kcal（灯油の約半分）の粒状燃料である。薪・木炭と比較して取り扱いや火力調整が容易、圧縮しているため貯蔵場所をとらない、長期間保存が可能、エネルギー密度が高いため一度により多くのエネルギーを輸送することが可能等の特徴を有している。また、エネルギー価格が高騰する中、農業用ハウス栽培の熱源や事業所、工場、病院、教育機関等の暖房給湯熱源として利用の可能性が大きい。しかし、木質ペレットの製造・流通・販売の安定的なシステムが確立していないことや、ペレット用のボイラー・ストーブ等の燃焼機器の販売数も少ないなど課題を抱えている。
2. これらの課題を解決するべく、(株)イワクラをコア企業とする連携体は、現状の原木に加え、小径木や枝、伐根などの未利用木材を活用した木質ペレットの供給システムの確立・販路開拓を行う。林地から木材原料を集荷する高度のノウハウを有している(株)イワクラと、破砕機による林地未利用木材の収集・破砕・集荷・運搬のノウハウを有する(株)小橋建設との協力により、コスト高になり活用されていなかった未利用木材の集荷システムを構築する。これにより安定的な原料確保が可能となり、年間5,000トンの生産量を目指す。（現状、北海道では年間1,000トン程度の生産量。）製造された木質ペレットは、(株)イワクラのグループ会社である運送会社と協力し、効率的な木質ペレット供給体制を構築していく。
3. ペレット燃焼機器の普及については、一般消費者に対しては、(株)イワクラの関連会社である住宅関連会社と連携し、新築住宅へのペレットストーブや家庭用ペレットボイラーの導入を提案していく。また大口需要に関しては、主に道内の主要施設、温水プール、農業用ハウス等の熱源設備を有する施設に対して、ペレットボイラーを石油代替エネルギーとして提案していく。並行して、金子農機(株)を中心として灰の量による影響を受けにくく低価格に抑えた汎用型木質ペレットボイラー、家庭用ペレットストーブの開発・製造を行う。

木質ペレットの燃焼イメージ

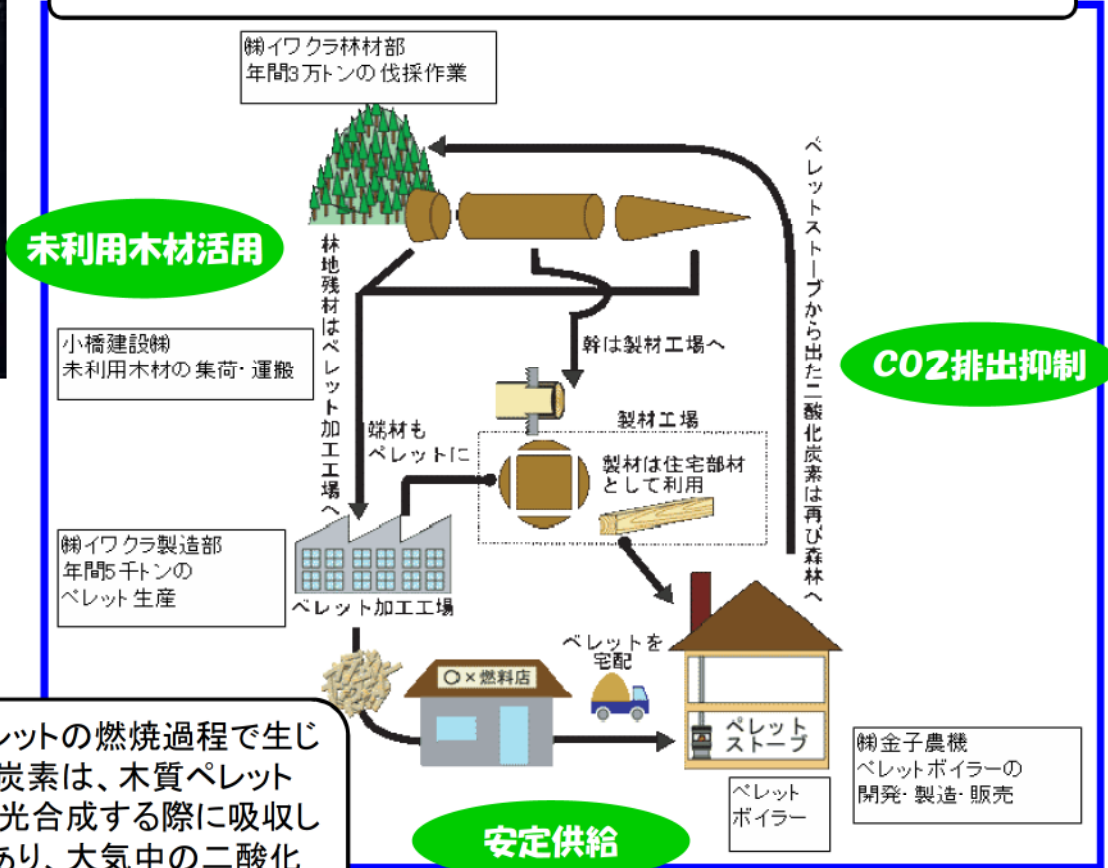


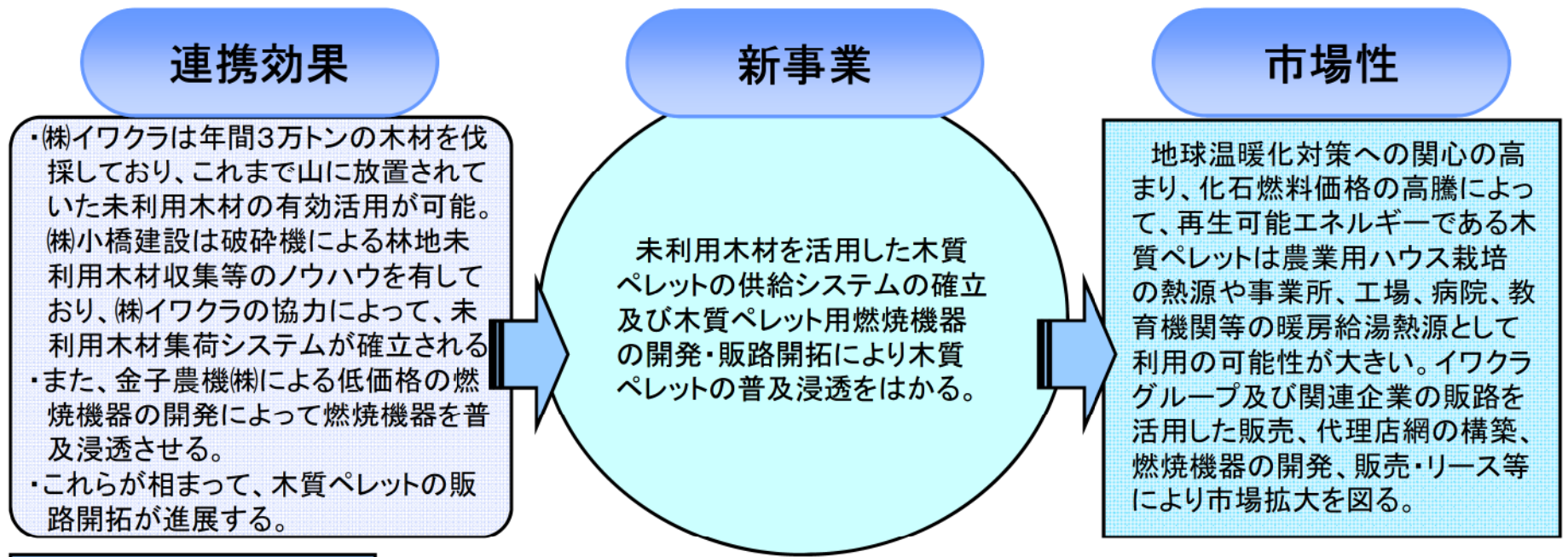
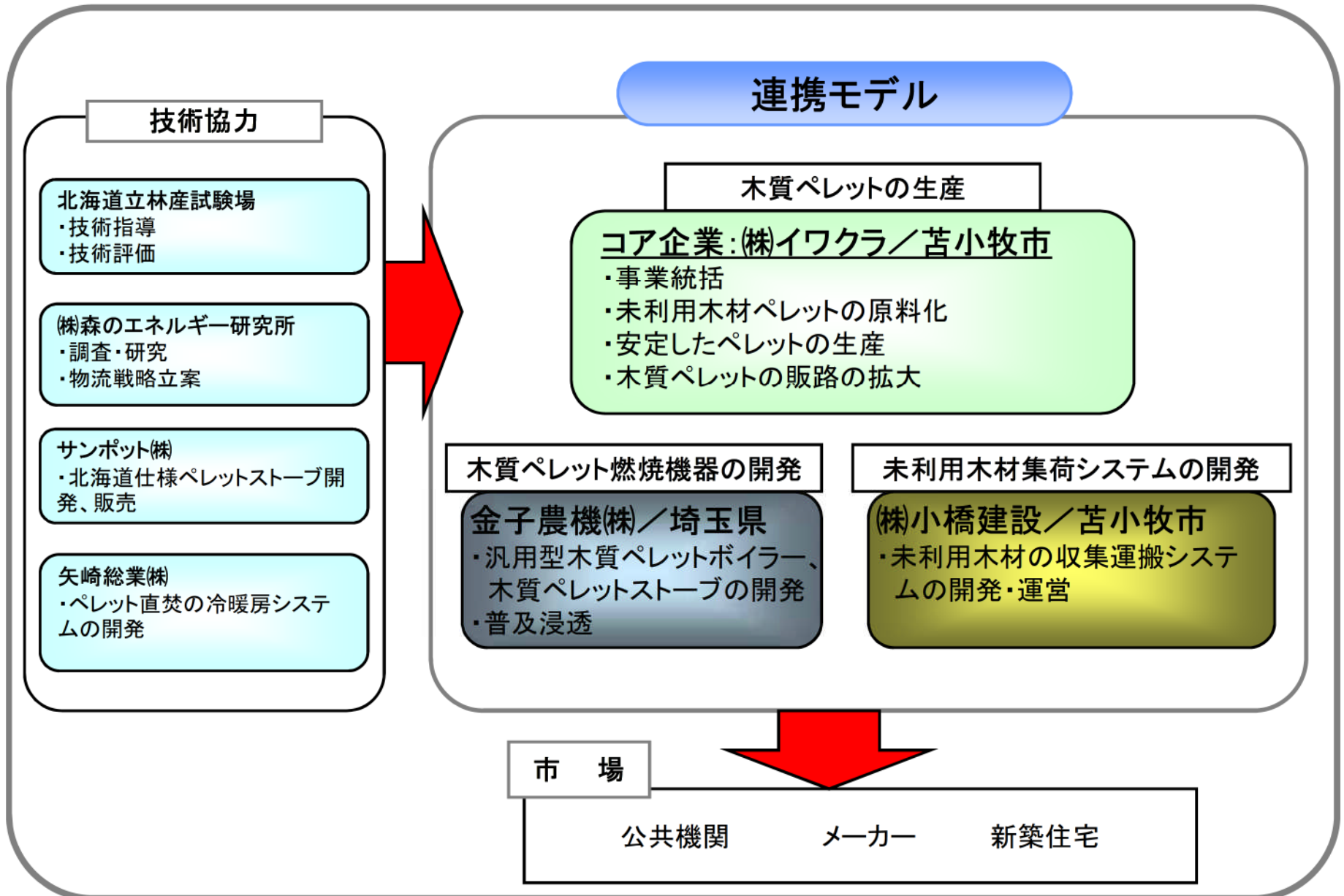
木質ペレットの特性



木質ペレットの燃焼過程で生じる二酸化炭素は、木質ペレットの原木が光合成する際に吸収したものであり、大気中の二酸化炭素は増加しない。

木質ペレットの供給イメージ（生産から利用まで）





支援メニュー

【活用(予定)支援メニュー】 ①補助金 ②設備投資減税

コア企業の会社概要

企業名・代表者	株式会社イワクラ 代表取締役 後藤 英夫	
所在地	北海道苫小牧市晴海町23番地1	
創立	昭和58年11月	
資本金・従業員数	2億円	185名
TEL/FAX	0144-55-6811	0144-55-7497
e-mail	g-kaihatu@iwakura-corp.co.jp	
URL	http://www.iwakura-corp.jp	